

# 柘植地域 まちづくりだより 第241号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)

発行日 千五九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

二〇一九(令和元)年八月十五日(木)



柘植地域俳句コーナー  
家毎に  
達ふ鉦の音  
魂送り  
澤井とき子

### そうだったのか！ 意外と知らなかったお互いの事業内容

昨年度の運営委員会等での反省にあった「事業間のつながりが少ない」現状を解消するために、7月20日(土)午前、事業主体による「ヨコ」の連携交流を図る2回目の会議を開催しました。

すべての事業主体代表が参加していなかっただものの、この会議を通じて、それぞれの事業がどのような目的でどのような行われているかが交流でき、今後、相互に助け合ったり意見を出し合ったりすることができるきっかけになりました。



事業の連携・交流を増やして、  
まち協の取り組みをより効果的に！

## 柘植財産区議員、決まる

このたびの議員改選により、別表の方が柘植財産区議員として、8月4日に決定しました。

任期は3年間(令和元年9月～令和4年8月)、柘植地域の将来につながるご活動をお願いしたいと思います。

### 柘植財産区議員一覧(敬称略)

- 片岡良章 (岡鼻区)
- 竹原啓祥 (小林区)
- 木澤良昭 (上町区)
- 植木義信 (下町区)
- 西田拓治 (小杉区)
- 岡島秀夫 (倉部区)
- 亀井健二 (山出区)
- 吉村良三 (前川区)
- 山岡幸五 (上村区)
- 鳥喰辰夫 (野村区)
- 佐治寛樹 (中柘植区)

←7月2日午後(火)、立候補予定者事前説明会が市民センターで開催されました。



### 「みえ森と緑の県民税」を活かして 身近な里山は、 区で整備していこう！

7月25日(木)午前、市民センターで、伊賀市農林振興課と連携して、今年度の事業説明や地域内の連携を深めるための会議を開催しました。

身近な里山や竹林は、手入れをしないと台風などで思わぬ被害を及ぼします。また今年の4月からは、国の森林経営管理制度(下QRコード)が始まりました。



今後は市や県の行政との関係を途切れさせることなく、柘植地域全体の森林のあり方を考えていける人材を各区に配置し交流することが重要となります。

↑伊賀市事業説明  
みんなの里山整備  
活動推進事業など



産業交流部会

### 有害獣の現状を掴み、対策を！

産業交流部会

8月7日(水)午後、市民センターで、農林振興課(有害獣対策係)ならびに三重県農林研究所等の支援を受け、年に一度の状況報告と地域内での情報交流を進めています。



獲の状況などを交流しました。

産業交流部会の有害獣対策係の松山宏己さん(写真右)のあいさつの後、兵庫県立大学の山端教授(同左)からサル対策のこれまでの経緯とサルの現状について説明を受けました。そのあと、地域内の追い払いや捕



今後の方向性として、狩猟目的と有害獣駆除目的を明確に区別し、地域全体として有資格者を増やしていくことが確認されました。特にイノシシ・シカについては、追払いに加え、現実的には法にしたがった「くくり罠や箱罠」による捕獲により個体数を減らすことをめざします。またそのためには、サルどこネット加入をはじめ、区を越えたネットワークづくりを進めることを確認しました。

### スポーツを通じたまちづくり 柘植地域住民の交流をめざして

スポーツ実行委員会

8月7日(水)夜、市のスポーツ推進委員(中川、宮田)をリーダーとして各区のスポーツ担当が集まり、第2回のスポーツ実行委員会が開催されました。

11月10日の市スポーツフェスティバル、11月3日のトレイルランニング大会に加え、10月6日(日)午後に予定している第2回柘植地域スポーツ大会について話し合いました。



トレイルランニング大会については、ランナーズクラブからの説明をもとに地元ボランティアスタッフを募集すること、また柘植地域スポーツ大会については、今回、県のインストラクターを招へいし、「キンボール」の体験を通じて、12区相互の交流を重視することを確認しました。

キンボールは2021年に開かれる三重国体の伊賀市での実施種目になっており、市も多くの方にその魅力を知っていただきたいということです。



伊賀市開催  
競技の説明↓



### 柘植駅開業130周年を祝うために

柘植駅130周年記念事業

7月26日(金)午前、市民センターで伊賀市交通政策課により、JR亀山鉄道部・伊賀市(支所を含む)・柘植まち協の三者協議が開催されました。



まち協では、すでに開業130周年に向けた取組みをスタートさせていますが、JRの財産である駅舎を活かして活動を進めるには、伊賀市行政の了解の下でのJRの協力が欠かせません。この会議を通じた相互理解

により、以後円滑に話が進むことでしょう。まち協では、跨線橋への「柘植のホントかるた」パネルの設置、旅行者向けの防災看板の設置、記念グッズの製作、市内関西線の駅を有する自治協によるシンポジウムの開催(10月19日)等を着々と進めています。

### 感謝

130周年記念事業に対する寄附やカンパについても、さつそくのご支援をいただいています。受付は市民センター窓口で行っています。目標に向けてご協力よろしくお願ひします。

### ★★★事務局だより★★★

▼梅雨明け以来、予想通りの暑い日が続いています。また本号発行日には台風来襲の予報も出ていますので、被害が少ないことを願うばかりです。▼温暖化にせよ、日本の少子高齢化・人口減少にせよ、予測はすでにされていたのに、人々の意識の変革には、いかに時間がかかるか思い知るところです。(西田方計)